

第5章 計画の推進に向けて

- ◆ 1. 計画の推進体制
- ◆ 2. 数値目標の設定

1. 計画の推進体制

本計画を推進するためには市民、行政、関係団体、企業が文化芸術の重要性を理解し連携することが重要です。

(1) 市民等との連携

市民の文化芸術活動を促進し、さまざまな取組みを実現するため、関係団体や文化芸術活動に取り組む企業、個人との連携強化に努めます。

また、佐賀市文化振興財団は、佐賀市の文化政策を進めるうえで大きな役割を果たす組織です。文化芸術の振興の面において、活動の場の提供、鑑賞機会の提供といった実務を担う団体として、これまで以上に連携し計画の推進を図ります。

(2) 県との連携

本市内における文化芸術の振興には、佐賀県の関係部署との連携も欠かせません。今後も、市民への幅広い支援を実施できるよう、県との連携を図っていきます。

佐賀県では、アーツコミッション事業としてLives Beyond IIなどを通じ、文化芸術団体に対する支援が実施され、この支援を受けて市内でも各所で公演が催されています。この事業と連携し、地域や個人の活動に密着した支援を計画していきます。また、佐賀県伝承芸能祭や「さがさいこうフェス」などのイベントとも連携し、県内の文化シーンの隆盛にも貢献できるよう努めます。



※1 CSO：「Civil Society Organization(市民社会組織)の略称。営利を目的とせず、社会の課題を解決するための団体の総称。

※2 メセナ：企業や団体が社会貢献の一つとして、文化芸術活動を支援すること。

(3) 計画の管理・評価

計画管理のためのPDCAサイクルを実行し、本計画の実現と佐賀文化の振興を目指します。そのために市民の視点を踏まえつつ、行政が中心となり計画の進捗状況を把握するものとしします。

また、各団体代表や有識者、市民などで構成する推進懇話会を開催し、本計画の進捗状況の点検や、方向性のチェックを行います。

さらに、本計画の見直しなどが必要になる場合においては、推進懇話会に諮るものとしします。



2. 数値目標の設定

(1) 市民の文化に対する意識の向上

本計画の推進のため、市民の文化に対する意識の向上度を測る数値目標を設定しています。数値目標は計画の進行指標のひとつです。

成果指標	現在	目標値
	2024年度	2030年度
過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加・活動した人の割合	10.9%	25.0%
過去1年の間に、市内で、文化活動に参加・鑑賞した人の割合	39.6%	50.0%
市内の文化財は、適切に保存・活用されていると思う市民の割合	48.0%	52.0%
文化芸術に触れる機会が充実していると思う市民の割合	46.1%	50.0%

(2) 市民の文化的な行動に対する数値目標

佐賀市文化会館及び東与賀文化ホールは、佐賀市の文化活動の中心となる施設であることから、両施設の入場者数を市民の文化的な行動に対する数値目標として設定しています。

成果指標	基準値	本計画目標値
	2024年度	2030年度
佐賀市文化会館の年間入場者数	270,468人	350,000人
東与賀文化ホールの年間入場者数	52,123人	58,000人